

「共に生きるとは何か」

— 難民の声、家族の歴史から考えた多様性 —



戦後80年を迎えた今年、子ども情報研究センターは、日本の植民地主義、侵略戦争と向き合い、一人の人として、「私と平和」を考え、行動する1年にしたいと考えています。今回は、認定NPO法人 Dialogue for People 副代表／フォトジャーナリスト 安田菜津紀さんから、平和を求めて生きていくために何ができるのかお話いただきます。

シリアでの戦争とその後の情勢不安、ガザへの軍事侵攻など、世界では子どもたちを含む多くの命が奪われ、故郷を追われる人も後を絶ちません。命の危険から逃れ、日本へと避難してきた人々がいますが、難民認定の壁に突き当たっています。

また、様々なルーツを持つ人々へのヘイトスピーチ、ヘイトクライムの問題も根深く残り、それが子どもたちに向けられることもあります。

この社会で「共に生きるとは何か」ということを、国内外で出会った人々の声、そして家族の歩んできた歴史も交えて考えていきます。

安田菜津紀さんプロフィール

1987年神奈川県生まれ。認定NPO法人Dialogue for People（ダイアログフォーピープル/D4P）フォトジャーナリスト。同団体の副代表。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で難民や貧困、災害の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。著書に『国籍と遺書、兄への手紙 ルーツを巡る旅の先に』（ヘウレーカ）、他。上智大学卒。現在、TBSテレビ『サンデーモーニング』にコメンテーターとして出演中。

日時

2025年7月13日(日) 13時30分～14時50分

場所

HRCビル5階ホール（大阪市港区波除4丁目1番37号）

- ・JR環状線「弁天町」駅北口より600m(徒歩8分) *エレベーターご利用の場合は「弁天町」駅中央南口改札から
- ・大阪メトロ中央線「弁天町」駅4番出口より700m(徒歩10分)
- * 休日はビル入口の自動扉が開きません。案内掲示にそって、通用口あるいはスロープからお入りください。

参加費

個人正会員1,000円 団体・賛助会員1,100円 一般1,200円（18歳以下無料）

* 情報アクセス保障（手話通訳、要約筆記等）や他のご要望などについては、準備の都合上 6月23日までにご相談ください。



お申込みフォーム

【お申し込み】

7月10(木)までに事前申込をお願いします。
右のフォーム、または必要事項（お名前・メールアドレス）をメール・FAX・お電話にてお申込みください。



【お問い合わせ】

〒552-0001
大阪市港区波除4丁目1番37号 HRCビル5階
公益社団法人子ども情報研究センター
電話：06-4708-7087 FAX：06-4394-8501
メール：kenshu@kojoken.jp